教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価の結果報告書 (令和6年度実績)

令和7年9月 渡嘉敷村教育委員会

目 次

1 趣旨	• • • •	1
2 対象事業		1
3 有識者の知見活用 〈参考〉地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)		1
4 意 見 評 価		
1 教育委員会会議について		2
2 学校教育関係		2
3 社会教育関係		4
4 その他		5
5 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及	び評価の結果報告	書」
1 渡嘉敷村教育委員会名簿		6
2 教育委員会会議等の開催状況		7
3 執行事業の点検及び評価		10

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に所属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、教育委員会は、首長からの独立した立場で、学校教育・社会教育等を所管する行政機関であり、法律の規定に基づいて、幅広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検評価し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民の皆様に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 対象事業

本年度の点検・評価の対象事業は、令和6年度の事業実績とし、「教育委員会の職務権限」と して規定されている事務をはじめ、村長との協議によって教育委員会の所管とされた事務を含む 本委員会が所管する全ての事務を対象とします。

3 有識者の知見活用

点検評価の結果について、法律では教育に関して学識経験を有する者の知見の活用をすることとしており、今回の点検報告では、村教育長として教育行政に尽力された宮平昌治氏より御意見をいただき、今後の事務の管理及び執行に活かしていきたいと思います。

次のページに御意見を掲載しています。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任さたれた事務その他、教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

4 意 見 評 価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項に基づき、渡嘉敷村教育委員会より提出のあった「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書」について意見評価を行う。

1 教育委員会会議について

・教育委員会会議については、日程調整困難により未開催の 12 月を除いては、原則通り毎月開催されており良好である。

2 学校教育関係

①学校施設の保守・管理について

・学校施設の保守・管理については、学校現場において日頃から安全点検を実施し、その 結果に基づいて優先度を考慮した予算措置がされていると思われる。突発的に発生する 修繕等もあることから、児童・生徒の安全を第一に考え万全を期してもらいたい。

②学習支援員配置事業

・学習支援員の配置については、これまで計画通りの配置が出来ず苦慮されたかと思うが、 今年度は渡嘉敷小学校、阿波連小学校とも計画通りそれぞれ2名の配置が出来たことは評価すべきことである。各業界とも人材確保の困難さが問題となっている昨今、本村においても安定的に支援員の確保が出来るか、懸念されるところである。今後の改善事項として、検証の通り、募集方法、募集時期を見直しても応募者がなく、支援員の確保が困難な場合の新たな支援体制の構築についての検討も必要かと思われる。

③教育業務支援員

・支援員を配置する事業の目的、効果については理解するが、学習支援員の配置同様に、 計画通りの確保ができるか不安な要素がある。新規事業のため、計画通りスムーズに開始 できるよう望まれる。

④学校評議員

・両校とも学校評議員設置要綱に基づき3名の評議員が確保されており、概ね計画通り実施されている。計画3回のところ1回未実施となった学校もあるが、学期毎に1回は開催した方がいいと思われる。

⑤学力向上

・渡嘉敷村学力向上推進事業については、補助金の使途・活用は適正に執行されており良好だが、補助金の適正執行が実際に学力向上に繋がっているか、客観的な検証も必要かと思われる。

・地域学力向上支援事業(各種検定料補助)

当事業の実施により、児童・生徒の学力向上や検定に取り組む意欲向上の成果が確認されていること、並びに保護者の経済的負担軽減にも繋がっていることから、継続的に 実施した方がいいと思われる。

・渡嘉敷村家庭教育支援事業(オンライン学習塾)

教育関係の一括交付金活用事業の中で、最も高額な事業規模となっており、塾の無い離島地域においても全国レベルの授業を受けることが出来る貴重な機会であることから、多くの児童・生徒が利用することが望ましいところである。

参加率、志望校合格率とも計画を上回っており、事業効果は達成出来ていると思われる。学習環境の問題で中途退塾者が出たとのことだが、学習環境の問題で子ども達の学習意欲を失わせることがないよう、快適な学習環境の構築に充分な配慮を行っていただきたい。

⑥ALT の活用

・ALT の配置については、JET プログラムを活用して継続的配置が出来ており評価する。 本村に着任した ALT は、幼稚園、小中学校での指導の他にも、地域行事や団体活動にも積極的に参加するなど、地域にとけこむ姿勢はすばらしい。

7学校給食

・学校給食については、渡嘉敷村学校給食共同調理場において安定的な供給がなされており、引き続き衛生管理の徹底を図り、栄養バランスのとれた安心・安全な給食の提供に努めていただきたい。沖縄県では中学生への給食費補助制度の取り組みが始まっており、各自治体でも補助制度導入が進むと思われるため、本村も給食費無償化について検討してみてはどうか。

8体験交流事業

・渡嘉敷村ホームステイ派遣事業

県内へのホームステイ派遣事業は、3日間の短期派遣ではあるが、海外派遣に比べて派遣人数を大幅に増やすことが出来ることから、多くの生徒がホストファミリーとの異文化交流や、本場の語学を体感できると思われる。今後も多くの生徒に派遣の機会を与える県内派遣を継続することが望ましい。

9児童・生徒派遣

· 児童、生徒派遣支援事業

離島小規模校においては、他校との競争機会や大勢の前での発表等の機会が乏しいため、スポーツ大会や文化的発表会への派遣を通して、視野の広がりや学習意欲の向上に繋がることから、継続して実施していただきたい。

⑩預かり保育

・利用人数の多さから保護者のニーズの高さが伺える。保護者の子育て支援や就労支援に も繋がるものであり、民間の預かり保育施設のない本村においては、幼稚園での預かり保 育は継続実施が望ましい。

①3 年保育の実施

・3年保育は保護者にとっては子育て支援に繋がり、園児においては早い段階から集団生活に慣れることにより、社会性が身につく効果があると思われる。3年保育を円滑に実施するためには、有資格者や補助員の安定した確保が重要になってくるので、雇用維持には万全を期していただきたい。

12小・中・高入学祝金支給事業

・入学祝金については、子育て支援や保護者の経済的な負担軽減に繋がっており、とりわけ島を離れて二重生活となる高校生を持つ家庭にとっては、有意な制度である。現行では小・中・高一律の支給金額となっているが、財源確保が課題となる中、支給範囲及び支給額について検証し、見直しについても協議してみてはどうか。

3 社会教育関係

①イベントの開催

・空飛ぶ図書館事業は、図書館や書店のない本村にとっては、多種多様な本に触れることが出来る良い機会である。開催時期も本に親しむには適した設定となっており、多くの村民が読書への関心を高め、本を読む楽しさを味わえる場になっていると思われる。沖縄県立図書館との共催事業であり、今後とも連携を図り継続実施していただきたい。

②ブックスタート事業

・乳幼児の段階から絵本に触れることで、絵本から得た視覚的な感性は、その後の本への 関心・興味に繋がると思われる。乳幼児検診時に実施されていることから、親同士の情報 交換や子育てについて話し合うことも出来るので良い取り組みである。

③おや子映写会

・今年度は30名程度の参加となっており、上映作品によるものなのか、開催時期によるものなのか、参加人数の少なさが気になるところである。

4 講座

- ・三線教室の開催は、沖縄の伝統芸能の継承・発展にも繋がる意義のある講座である。村内に指導資格を持つ有段者も存在することから、本格的な技術の習得や的確な指導を受けることが出来、更なる高みを目指す向上心にも繋がることが期待される。
- ・移動おもしろ科学教室

定員 40 名に対し、参加人数が 19 名の低い参加率となっており、新規事業のため周知不足等が要因になったことも考えられるが、学校の授業では体験出来ない実験へ興味・関心を持つことにより、参加人数が増えることを期待したい。

5青少年健全育成

・毎年夏休み期間中に実施している深夜はいかいパトロールは、一日のみ実施されている。 一日で効果が得られるものではないが、地域ぐるみで子ども達の健全育成に取り組んでい る活動は、抑止力による効果や犯罪防止等への意識の高まりにも繋がるものと思われる。

⑥歴史・文化

· 歷史民俗資料館

開館員の常駐配置が困難な状況から、長年にわたり開館出来ない状態だったが、今年度は開館員を配置することが出来、常時開館が可能になったことは評価することである。展示品の充実や幅広い周知を行うなど、多くの方に渡嘉敷村の歴史・文化に触れる場所になるよう願っている。

・とかしき村文化祭

毎年開催のとかしき村文化祭は、本村に伝わる文化・芸能を絶やすことなく連綿と継承する催しとして、大きな役割を果たしていると思われる。今年度は出演数、来客数も増加していることから、各種団体の活動の成果、発表等を楽しみにしている村民が多いことが伺える。今後とも各種団体の活動と、公民館活動の更なる活性化のため、継続的に実施していただきたい。

⑦二十歳の集い

・本村出身の成人者や村内に在住する成人者を招き、多くの村民が参加し成人者の門出を 祝福することは意義あることだと思われる。生まれ育った島への愛着心と、地域の方々へ の感謝の気持ちを忘れることなく、今後とも対象者全員が集いに参加できるよう継続実施 してほしい。

⑧生涯スポーツ等

・村トリムマラソン大会については、例年全村民を対象に開催されていると理解しているが、今年度は参加総数 37 名中一般参加は 1 名で、36 名は小学生の参加となっている。周知不足との検証結果が示されていることから、次年度の開催には改善が図られ、盛り上がる大会になるよう願っている。

⑨平和学習会

・例年6月23日の「慰霊の日」に開催している平和学習会については、村民及び来島者へ開催の周知を行っているが、参加者が14名と少なく寂しい結果となっている。戦争の悲惨さや、平和の尊さへの理解が薄らいでいることが、参加人数の少なさになっているとは一概には判断できないが、戦争を経験した世代が少なくなっていく中で、戦争の悲惨さを伝え、記憶を風化させてはならないという観点から、平和学習会は継続すべきであると考える。

4 その他

①修学支援事業

・高校進学に伴い、島を離れ親元を離れての生活は、親にとっては二重生活による経済的 負担や精神的負担が大きいと思われる。当事業により、交通費及び住居費の支援を受ける ことで、親の経済的な負担軽減と安定した学習環境、生活環境が確保され、充実した高校 生活を送ることが出来るため、継続して実施していただきたい。

5 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書」

1 渡嘉敷村教育委員会名簿

(令和7年3月31日現在)

教 育 長 金城 満

(任期 令和5年4月17日 ~ 令和8年4月16日)

委員(教育長職務代理者) 藤原 史明

(任期 令和6年4月1日 ~ 令和10年3月31日)

委 員 古波蔵 善之介

(任期 令和5年4月19日 ~ 令和9年4月18日)

2 教育委員会会議等の開催状況

渡嘉敷村教育委員会における会議は、原則として毎月開催する定例会とし、教育委員会の議決が必要な案件(議案)を審議する。緊急を要する重要事項については、教育長が適宜、委員会を招集し、臨時会として協議する。

令和6年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりである。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
定例会	12	12	11
臨時会	6	0	0
合 計	18	12	11
備考	※臨時会6回のうち、2回をリ モート会議方式で開催。		※令和6年12月定例会は、委員の 日程調整が困難となり未開催。

以下のとおり教育委員会会議を開催し、議決等を行った。

・開催回数 11 回

・議決案件 8 件

・臨時代理報告 1 件

(教長):教育長 (教委):教育委員 (事務):事務局職員

	開催日	出席者	(教女)·教育女 (教安)·教育安員 (事務)·事務向職員 議 題
1	R6.4.2 (火)	5人	第1回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定 ②その他・(教委)学校訪問の再開について ・(事務) ALTの着任について
2	R6.5.8 (水)	5人	第2回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定 ②報告・旅館業法第3条第4項に基づく意見について
3	R6.6.18 (火)	5人	第3回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定 ②議案第1号 原案可決 「渡嘉敷村教員業務支援員配置事業設置要綱の制定について」 ③議案第2号 原案可決 「渡嘉敷村オンライン学習塾業務委託業者選定委員会設置 要綱の制定について」 ④議案第3号 原案可決 「渡嘉敷村地域スポーツクラブ活動体制整備事業業務委託 業者選定委員会設置要綱の制定について」 ⑤議案第4号 原案可決 「渡嘉敷村立中学校部活動の外部指導員に関する要綱の制定について」 ⑥その他・(教長)渡嘉敷中学校 県大会への出場報告 について ・(教委) 村の人材活用に関する意見交換

(教長) : 教育長 (教委) : 教育委員 (事務) : 事務局職員

回	開催日	出席者	(教女)·教育女 (教女)·教育女員 (事務) · 事務问職員 :
4	R6.7.10 (水)	5人	第4回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定 ②その他・(教長)渡嘉敷幼稚園 周年事業(50周年) について ・(教委)深夜徘徊パトロールについて ・(教委)観光客の服装について(児童生徒へ の影響)
5	R6.8.1 (木)	5人	第5回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定 ②議案第5号 原案可決 「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」 ②その他・全国学力調査について ・(事務) 「まちなか留学」事業について ・(教委) 子ども達の自転車乗り方について
6	R6.9.4 (水)	5人	第6回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定 ②その他・(事務)全国学力学習状況調査の結果説明 ・(事務)県学校給食費補助事業の説明
7	R6.10.2 (水)	5人	第7回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定について ②議案第6号 原案可決 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 の結果報告書について」 ③その他・(教委) 点検及び評価の結果報告について ・(事務) 県学校給食費補助事業の説明について

(教長) : 教育長 (教委) : 教育委員 (事務) : 事務局職員

	開催日	出席者	議題
8	R6.11.18 (月)	4人	第8回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定 ②その他・(教長) R8文教施策に関する要請事項について ・(教長) 琉球大学との連携・協力について
9	R7.1.14 (火)	5人	第9回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定 ②その他・(教長) 幼稚園給食の週2回実施に向けて ・(事務) 共同調理場運営委員会の開催について ・(教委) 受験生への体調面配慮について
10	R7.2.17 (月)	5人	第10回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定 ②議案第7号 原案可決 「渡嘉敷村立学校給食共同調理場の管理及び運営に関する 規則の一部を改正する規則について」 ③議案第8号 原案可決 「令和7年度 渡嘉敷村立小中学校職員の人事異動に係る 内申について」 ④その他・(事務) 幼稚園の完全給食に向けた計画について ・(教長) R7教職員の人事異動について
11	R7.3.12 (水)	4人	第11回 教育委員会会議(定例会) 議事日程 ①会期の決定 ②その他 ・(教委)教育委員としての1年の振り返り について ・(教委) 地域における子供の居場所づくり ・(教長) R7年度教育推進事業について

3 執行事業の点検及び評価

区分	事業名	点検(内容、課題及び主要項目)	自己評価
教育委員会	教育委員会議	〇教育委員会議開催 (継続)	11 🗆 B
光计业本目点	**************************************	○尚林林弘のJP中、第四 (姚体)	
学校教育関係	字校施設の保守・管理	O学校施設の保守・管理(継続)1. 予算の執行状況配当予算額4,007支出済額3,715執行率	
		2. 事務事業の点検・評価	
		事業内容 学校教育関係施設の保守・管理。	
		① 事業計画 P 施設の保守・管理を実施。定期報告による修繕計画	を策定。
		② 事業成果 D 計画による点検及び修繕を実施。(渡小教室エアコ 屋根防水調査、トイレ改修、阿小エアコン)	ン、渡中体育館
		③ 検証 C 計画及び学校からの要望に基づき修繕を実施。急な 予算確保の状況から、対応に時間を要した。	故障等について
		④ 改善 A 定期的な点検と施設状況の確認。計画的な修繕の実施 具合に対応する予算確保。	施と、突然の不
		3. 評価者 教育課長	
	学習支援員配置事業	〇学習支援員配置事業 (継続)	А
		1. 予算の執行状況補助対象予算額6,894補助対象支出済額6,007執行率	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		2. 事務事業の点検・評価	
		事業内容 一括交付金を活用し、子供たちの学力向上の推進お	よび離島の教育
		環境を改善するため、学習支援員を配置する。 ① 事業計画 P 渡嘉敷小学校 2 名配置	
		阿波連小学校 2名配置 ② 事業成果 D 渡嘉敷小学校 2名配置	
		阿波連小学校 2名配置 (△1名:11月から1名の表現	かし、阿波連小
		学校では、11月~3月まで、休職に伴い1名減と: ④ 改善 A 継続して支援員の確保(募集方法・時期)についてた、学習支援員の状況に左右されない、柔軟な学習:	検討する。ま
		を検討する。 3. 評価者 参事兼総務係	
	数 教員業務支援員	○沖縄県教育支援体制整備事業費補助金(教員業務支援員配置事業)	(新規) B
		1. 予算の執行状況 補助対象予算額 2,179 補助対象支出済額 2,159	,000 円
			99.1 %
		事業内容 教員の業務負担を軽減し、教員が児童生徒への指導	 や教材研究、生
		徒指導等により注力できる環境を整備することを目((渡嘉敷村教員業務支援員配置事業設置要綱より)	的としている。
		本事業は、渡嘉敷村立小学校及び中学校へ教員業務	
		し、教職員がより児童生徒への直接的な指導や教材 きる体制を整備し、本来担うべき業務に専念できる ことを目的とする。	
		① 事業計画 P 渡嘉敷小学校・渡嘉敷中学校・阿波連小学校にそれ- 置(計3名)	ぞれ1名ずつ配
		② 事業成果 D 4月~渡嘉敷中学校へ1名配置 10月~阿波連小 (県担当者と相談して、両学校2名の配置に変更し	
		③ 検証 C 教職員の業務改善を図るためには、安定した雇用が	·
		④ 改善 A 4月当初より、教員業務支援員が配置できるよう支援	
		3. 評価者 参事兼総務係	

区分事	· 業 名	点検(内容、課題及び主要項目)	自己評価
学校評		E (継続)	В
	1. 予算の執行		_
	2. 事務事業の		
	事業内容	学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携・協力	
	5/(1)	のもと、一体となって子ども達の健やかな成長を図るため、地域住	
		民が学校運営に参画する仕組みを制度的に位置付けるものである。	
	① 事業計画 P		
	② 事業成果 D	阿波連小学校 3名 年3回 予定 渡嘉敷小中学校 3名、年3回 実施	
	③ 検証 C	阿波連小学校 3名 年2回 実施 評議員が学校運営に参画することで、教育活動に必要な助言を得ら	
	④ 改善 A	れ、工夫改善に活かすことができた。 計画回数未達を受け、次年度は学校との調整を強化し、会の計画的	
		実施を目指す。本制度は学校運営に不可欠であり、その重要性を再 認識し、継続的に活用する。	
	3. 評価者	学校教育係	
学力の	O向上O渡嘉敷村学力向1. 予算の執行	1上推進事業 (継続)	В
	1.] # •>+///	支出済額 290,975 円	
	2 東敦東学	執行率 88.2 %	
	2. 事務事業 <i>0</i> 事業内容	の点快・評価 渡嘉敷村内の幼児・児童・生徒の健全な育成を目指し、学校・家	
	5/(1)1	庭・地域が連携し学力向上並びに豊かな情操を育成する。	
	① 事業計画 P		
	② 事業成果 D	交付前に補助金の使途を再確認し、学校へ指導後に交付した。	
	③ 検証 C	実績報告の際、各支出項目の目的と得られる効果を報告。監査においても指摘なし。	
	④ 改善 A	補助金は適正に執行されたが、学力向上に繋がる具体的な活動が十分に展開できなかった。今後は、学力向上のための具体的な施策と	
	3. 評価者	その実行方法を検討する。 社会教育係	
 学力 <i>の</i>)向 F	援事業(各種検定料補助)(継続)	A
7-73%	1. 予算の執行		Α.
		執行率 79.5 %	
	2. 事務事業の	D点検・評価	
	事業内容	各種検定受験料の半額補助をすることで、保護者の経済的負担の軽	
	① 事業計画 P	減や児童生徒の学習意欲の定着、学力向上を図る。 各種検定料の補助(漢字検定、数学(算数)検定、英語検定)	
	② 事業成果 D	漢字検定3回、数学(算数)検定5回、英語検定3回	
	③ 検証 C	各種検定の補助は、児童生徒の受験意欲向上と学習環境整備に繋が	
	<i>(</i> 2, 74. ≠ 4	り、学力向上にも貢献した。	
	④ 改善 A	事業効果検証のため、受験者の合格率など具体的指標を設定し検討する。本事業は重要性が高く、今後も継続して実施する。	
	3. 評価者	社会教育係	

区 分	事 業 名		 点検(内	容、課題及び主要項目	<u> </u>	自己評価
	学力の向上	〇渡嘉敷村家庭教	育支援事業(オン	ライン学習塾) 一括2	交付金 (継続)	В
		1. 予算の執行		配当予算額 支出済額	9,127,000 7,348,441 円	
		2 事效事業の	> E+A ==/=	執行率	80.6 %	
		2. 事務事業の 事業内容		やすい離自地域におい	て、村営学習塾を実施するこ	
		争未的台		の支援と児童生徒の学		
		① 事業計画 P			川川工で囚る。	
				望校合格率80%以上		
		② 事業成果 D	授業数455授業、	参加率65%、志望校合	格率100%	
		③ 検証 C			しかし、勉強に適さない環	
		④ 改善 A			環境改善が課題となる。	
		(4) tyer A	保や静音対策な		最優先に。学習スペースの確 と居心地の良い学習空間の構	
		3. 評価者	築を進める。 社会教育係			
	ALTの活用	OALTの配置 (А
		1. 予算の執行	ī状況	配当予算額 支出済額 執行率	3,360,000 3,293,344 98.1 %	
		2. 事務事業の	点検・評価	刊门伞	90.1 /0	
		事業内容		図る環境が乏しい本村におし、幼児・児童・生徒に生	いて、JETプログラムの外国青 ∈きた英語の授業を行う。	
		① 事業計画 P	1名配置(4月	来村・新規ALT)		
		② 事業成果 D	幼稚園での英語 小中学校での英			
		③ 検証 C			吾の授業以外にも学校行事等 ニケーションを図っている。	
		④ 改善 A	今後もJETプロ	グラムを活用し配置する	0	
		3. 評価者	参事兼総務係			
	学校給食	○学校給食の運営	(継続)			В
		1. 予算の執行		配当予算額 支出済額 執行率	33,697,000 33,204,615 98.6 %	
		2. 事務事業の 事業内容	渡嘉敷村立学校		のため、その調理の業務を一 合食共同調理場を設置。学校	
				いては、安心・安全な#な食材の確保に努めてい	合食を提供するため、衛生管いる。	
		① 事業計画 P	学校給食の安定	供給。		
		② 事業成果 D	安心・安全な学	校給食の安定供給を実施	もした。	
		③ 検証 C	安心・安全な給	食の提供が実施できた。		
		④ 改善 A	幼稚園の次年度 めていく。	の実施(週2食提供)に	向け、関係機関と協議を進	

区 分 事業			点検(内容、課題及び主要項目)	自己評価
1	体験交流学習	〇渡嘉敷村ホーム	ステイ派遣事業 (継続)	А
		1. 予算の執行	F状況 配当予算額 226,000 円	
			支出済額 225,570 円	
			執行率 99.9 %	
		2. 事務事業の		
		事業内容	本村の中学生を県内ホームステイ先に派遣し、ホストファミリーと	
		テババロ	共に生活を行うことで、異文化理解や語学への関心を高める。	
		① 事業計画 P	夏休み期間中の3日間、中1~中学2年生を県内のホームステイ先に	
		() FXIII	派遣する。	
			派馬する。	
		② 事業成果 D	中学生15名中、7名を派遣。	
		© 7×10×10	117 1341X 14 E/IXE0	
		③ 検証 C	生徒アンケートから、「英語学習意欲の向上」「海外留学への関	
		O DOME O	心 について、それぞれ高まったと読み取れる回答が多く上がっ	
			た。事業目的は達成していると考えられる。	
			た。争未日的は连成していると考えられる。	
		④ 改善 A	対象学年を引き下げ、参加者数を増やすことを検討する。	
		U WHA	/ショ氷ナサで引き り、参加有数を垣でりことを快引りる。	
		3. 評価者	社会教育係	
		J. IIIIII I	ILAMHIM	
ļ	児童・生徒派遣	〇児童・生徒派遣	支援事業 一括交付金 (継続)	Α
		1. 予算の執行	F状況 配当予算額 3,010,000 円	
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	支出済額 3,005,163 円	
			執行率 99.9 %	
		2. 事務事業の		
		事業内容	村外での交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせ	
		3.201.31	るとともに、個々の能力及び教育意欲の向上を図るため、村外で開	
			催されるスポーツ大会や文化的教育活動等に参加する児童生徒に対	
			し、船舶運賃等の補助を行う。	
		① 事業計画 P	阿波連小学校 4件 渡嘉敷小学校 4件	
		O JONETH !	渡嘉敷中学校 12件	
		② 事業成果 D	阿波連小学校 3件 渡嘉敷小学校 4件	
		© 7×/×/×	渡嘉敷中学校 8件	
		③ 検証 C	児童生徒の視野が広がったというアンケートが100%になっている	
		@ 1X III. O	ことから、大会等の派遣は小規模離島校ではできない貴重な体験と	
			なり、意欲向上につながっている。	
			なり、息飲円上にフながつといる。	
		④ 改善 A	大会等の派遣は児童生徒の意欲向上につながっているので、より多	
		O 3/10 //	くの機会が得らるよう、学校の意向や児童生徒の考えを把握するた	
			め教諭と情報交換を行い、派遣する大会等を決定する。	
		2 === +/		
		3. 評価者	学校教育係	
3	預かり保育の実施	○預かり保育の実	施(継続)	В
[1. 予算の執行	· · 状況	-
			**当該事業限定の予算なし 支出済額	
			執行率 - %	
		2. 事務事業の		
		. 3 33 3 2 2	幼稚園において、地域の実態や保護者の要請により、教育課程に係	
		事業内容	る教育時間の範囲外に行う保育の必要性が認められる園児を対象	
		ないがま	に、預かり保育を実施し保護者の子育で支援に資する。	
		① 事業計画 P	1 7/1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		<u> </u>	渡嘉敷村立幼稚園預かり保育に関する運営規則による	
		②事業成果 D	預かり保育実績数 18名	
		③ 検証 C	預かり保育を安定して継続・実施するには、有資格者及び補助員の	
		(A) 7L ± 4	安定した雇用が必要である。	
		④ 改善 A	保護者の子育て支援に資するため、今後も実施体制を整え有資格者	
		3. 評価者	等の人材を確保する。 学校教育係	

区 分	事 業 名		点検(内容、課題及び	主要項目)	自己評価
	3年保育の実施	○3年保育の実施	(継続)		А
		1. 予算の執行	大況 配当予算 支出済額	※当該事業限定の予算なし	
			執行率	- %	
		2. 事務事業の			
		事業内容	入園年齢を満4歳から満3歳に 育て支援に資する。	:引き下げることにより、保護者の子	
		① 事業計画 P	渡嘉敷村立幼稚園管理規則によ	: 3	
		② 事業成果 D	令和6年度 3歳児 8名		
		③ 検証 C	3歳児保育を安全に実施するたる	めには、幼稚園教諭等の安定した雇	
		④ 改善 A	用が必要である。 保護者の子育て支援に資するた	- め、今後も有資格者等の人材を確保	
		3. 評価者	する。 学校教育係		
		」 3. 計画省	丁/人;从日 /バ		
	その他		R金支給事業 (継続)		В
		1. 予算の執行			
			支出済額 執行率	頁 <u>750,000</u> 円 96.2 %	
		2. 事務事業の		30.2 /0	
		事業内容		:徒及び高校入学により村外に住所を	
			有する生徒を養育する保護者に		
		① 事業計画 P	入学した小中高校生の保護者に	対し、入学祝金3万円支給。 	
		② 事業成果 D	小学校 9人 中学校 5人	高等学校 11人 合計25人	
		③ 検証 C	 入学を祝福し児童生徒の健全な	育成及び明るい家庭づくりを増進す	
				して、満足度等のアンケートなども	
		④ 改善 A	検討する必要がある。 事業開始時は、地方債による積		
				が課題となる。今後も同条件での支	
			給を続けるか、事業効果の検証	E方法と合わせて慎重に検討する必要	
		3. 評価者	がある。 学校教育係		
社人地 去思想	4 AA 1 - 88 AU	○京し 2回事始	(継続)		^
社会教育関係	イベントの開催	O空とぶ図書館 1. 予算の執行	(42-470)	算額	А
		2. 3 37 -> 17013	支出済額	※当該事業限定の予算なし	
		2. 事務事業の	執行率	- %	
		事業内容		県立図書館の本を渡嘉敷村中央公民	
			館にて陳列し、図書の貸出しを		
		① 事業計画 P	令和6年12月6日(金)、12月7日(12月7日(金)、12月7日(金)、12月7日((土)	
		② 事業成果 D	約700冊の本を陳列。 来館者数 70名。貸し出し冊数:	308冊。	
		③ 検証 C	読書機会の少ない村民に向け、	本とふれあえる機会を創出できた。	
		④ 改善 A	継続して実施する。		

区 分	事 業 名		点検(内容	、課題及び主要項	目)	自己評価
	ブックスタート	Oブックスタート	事業 (継続)			А
		1. 予算の執行	状況	配当予算額 支出済額	22,000 20,550 円	
				執行率	93.5 %	
		2. 事務事業の				
		事業内容	乳幼児検診時に、	幼児へ絵本のプレセ	ントをおこなう。	
		① 事業計画 P	年2回、民生課が行	テう乳幼児検診の日		
		② 事業成果 D	絵本を全対象者へ			
		③ 検証 C		つくるとともに、幼 ョンを増やすことも	児の豊かな感性を育む 検討する。	
		④ 改善 A	継続して実施する	0		
		3. 評価者	社会教育係			
	おやこ映写会	〇おやこ映写会	(継続)			A
		1. 予算の執行	状況	配当予算額 支出済額	※当該事業限定の予算なし	
				執行率	- %	
		2. 事務事業の				
		事業内容			おいて大型スクリーンで映画	
			上映し、親子のふ	れあいやこどもの豊	かな感性を育む。	
		① 事業計画 P	令和6年7月5日(土			
		(a) ##### D	上映「ミニオンズ	・フィーバー」		
		② 事業成果 D	30名程度参加。			
		③ 検証 C	幼児から中学生、	親子の参加があり、	ふれあいの場ができた。	
		④ 改善 A	継続して実施する	۰		
		3. 評価者	社会教育係			
	講座	〇三線教室 (継	続)			A
	,	1. 予算の執行	状況	配当予算額 支出済額	※当該事業限定の予算なし	
		2. 事務事業の	占桧。亚体	執行率	- %	
		2. 事務事業の 事業内容			能である三線に触れる機会と	
		ナゲロボ		ご協力をいただき講		
		① 事業計画 P	年間を通して、毎	週日曜日に実施。		
		② 事業成果 D			ミュニケーションの場とな	
		③ 検証 C		その成果を発表した あれば実施したい。	•	
		④ 改善 A	継続して実施する	0		
		3. 評価者	社会教育係			

区 分	区 分 事業名		点検(内容、課題及び主要項目)			自己評価
	講座	○移動おもしろ科芸	学教室 (新規)			В
		1. 予算の執行	状況	配当予算額 支出済額 執行率	※当該事業限定の予算なし - %	
		2. 事務事業の	点検・評価	77013 —	,,	
		事業内容	科学体験をとおし	て、理科に関する興	味関心、学習意欲を高めると	
			ともに、探究心の)向上を育む。		
		① 事業計画 P	令和6年10月5日(県立総合教育セン	•	もしろ科学教室」を実施。	
		② 事業成果 D	19名が参加し、貴	貴重な理科に関する体	験にワクワクが見られた。	
		③ 検証 C	定員40名に対し、	半数の参加となった		
		④ 改善 A	参加者が多く見込	よれる日程を考慮し	、実施する必要がある。	
		3. 評価者	社会教育係			
	青少年健全育成	〇深夜はいかいパ	トロール (継続)			A
		1. 予算の執行	状況	配当予算額 支出済額 執行率	※当該事業限定の予算なし	
		2. 事務事業の	点検・評価	孙门至	- /0	
		事業内容		i志を募り、村内3集	落で青少年の深夜はいかい防	
				1ールを実施する。		
		① 事業計画 P	令和6年8月22日(z 村内各種団体へ協	• /		
		② 事業成果 D	参加者合計 26名 学校職員、PTA、	青年会、教育委員、	社会教育委員、駐在所	
		③ 検証 C	家庭・地域が連携 識が強まった。	し、子どもたちの健会	全育成に努めていくという意	
		④ 改善 A	青少年健全育成に	関する、その他取り	組みを検討する。	
		3. 評価者	社会教育係			
	歴史・文化	〇歴史民俗資料館	運営業務 (継続)			А
		1. 予算の執行	状況	配当予算額 支出済額 執行率	1,103,000 円 1,018,142 円 92.4 %	
		2. 事務事業の	点検・評価			
		事業内容	ともに、村民の文		る資料の保存と活用を図るととを目的とし、歴史民俗資料	
		① 事業計画 P	館を運営する。 今年度から開館員	過を配置。		
		② 事業成果 D	常時開館できる時	時間を設けたことによ	り、利便性が上がった。	
		③ 検証 C	広く観覧してもら	っうには。この体制が	望ましい。	
		④ 改善 A	継続して実施した	- l'o		
		3. 評価者	社会教育係			

区分	事 業 名	点検(内容、課題及び主要項目)			自己評価	
	歴史・文化	〇とかしき村文化祭 (継続)		_	А	
		1. 予算の執行	状況	配当予算額 支出済額	※当該事業限定の予算なし	
				執行率	- %	
		2. 事務事業の		12 ## 4K + 4N 7 20 F L	1 7 4 4 CD # 1	
		事業内容	本村に伝わる文化 館活動の活性化に		せるため実施し、並びに公民	
		① 事業計画 P	令和7年2月15日(-	E)		
		② 事業成果 D	例年より出演数、	来客数も増加。		
		③ 検証 C	団体へより早めに	周知を行い、余裕を	義な文化祭が実施できた。 もった準備期間をもたせる。	
		④ 改善 A	継続して実施する	•		
		3. 評価者	社会教育係			
	二十歳の集い	〇二十歳の集い	(継続)			В
		1. 予算の執行	状況	配当予算額 支出済額 執行率	126,000 108,863 86.4 %	
		2. 事務事業の				
		事業内容	村出身および村内	の成人者を招き、村	を揚げて激励祝福する。	
		① 事業計画 P	式典(総務課)、	祝賀会(教育課)		
		② 事業成果 D	成人者6名を激励社	兄福。		
		③ 検証 C	保護者や団体の出	演が直前まで決まら	なかった。	
		④ 改善 A	早めに成人者の保	護者や団体と調整を	おこなう。	
		3. 評価者	社会教育係			
生涯スポーツ等		〇村トリムマラソ	ン大会 (継続)			В
		1. 予算の執行	状況	配当予算額 支出済額 執行率	19,580 円 19,580 円 100 %	
		2. 事務事業の				
		事業内容	村民の健康及び体	力増進を目的とし、	トリムマラソン大会を行う。	
		① 事業計画 P	令和7年1月18日(<u>-</u> 対象:村民	E)		
		② 事業成果 D	児童36名、一般1年			
		③ 検証 C		少なく、周知不足だ		
		④ 改善 A		活用し、村民へもよ	、り広く周知を行う。	
		3. 評価者	社会教育係			

A 円 円 ツッツ ツッツ ツッツ ツッツ かっ お 物 の 悲惨
州 %
争の悲惨
争の悲惨
える必要
В
円
円
%
要する交
を図り、
こついて離
する。
協議等が

評価対象事業数	
可圖別家爭未致	27
自己評価 A	14
自己評価 B	13
自己評価 C	0

自己評価の判定基準

令和5年度の事業評価を踏まえ、以下の基準に基づき自己評価(A·B·C)とする。

A:満足(改善・向上) 【令和5年度の検証による改善事項が、令和6年度の計画や成果に良い影響を与えている場合。】 B:ほぼ満足(現状維持) 【令和5年度と比較して、令和6年度の計画や成果に大きな変化が見られない場合。 】 C:要改善(悪化) 【令和5年度と比較して、令和6年度の計画や成果が悪くなっている場合。 】